



すごいぞ!水路のひみつ(第5回ふるさと発見!四万十の子ども研究発表会)

1月31日(金)四万十市内の13小学校がそれぞれの校区で学習した内容を発表しました。大用小からは「大用のお米はおいしい。しかし、昔は水がなかったので大用にはとうもろこし畑しかなかった。」で始まる大用の水路のひみつについて、4年生が発表しました。

現在、水路は片魚口から熊野神社までのおよそ7kmくらい続いており、大正4年から約2年間をかけて工事が完成しました。工事にかかった費用は27,435円(今のお金に直すと約1億4600万円)で、すべて手作業で行われたとのこと。大用小学校の校庭の西側には、芝嘉次郎さんの石碑があり、芝さんは大用小学校を作るために寄付をしてくれたり、水路づくりにも力を入れてくれたことなど、学んだことをまとめて発表してくれました。★SWAN TVで放送されます。2月12日(水)のニュース①7:00 ②7:45 ③12:00 ④12:45 ⑤21:00 ⑥21:45



2月13日(木)14時からワークホールで学習発表会があります。各学年が学んだことを発表します。ぜひお越しください。



【学習支援員 矢野川 先生】

今年も6年生の算数の学習支援として、矢野川先生にお世話になりました。1月16日から28日までの7回、スムーズに算数から数学に移行できるよう、指導していただきました。

私が参観したときは、図形の面積を求めるために、数字ではなく文字で式に表すなど、数学の内容でした。優しく丁寧に教えていただいたおかげで、6年生は「よくわかる・できた」という実感があつたようです。

矢野川先生、ありがとうございました。先生には、令和7年度の修学旅行前に、平和学習についても教えていただく予定となっています。



大用小学校では、一人一台端末を活用した授業やプログラミング教育に取り組んでいます。1月23日(木)、3~6年生が幡多情報エントランスセンターの浜田さん・安光さんのご指導により、プログラミング学習を行いました。それぞれの学年では、「ロボホン」というロボットを使って、自分が考えた動きをプログラミングして、ロボホンを思い通りに動かしていました。今回が初めてだった3年生も、普段からタブレットを使い慣れているので、楽しく学習ができていました。



1月17日(金)阪神・淡路大震災から30年。この日は、市内の小中学校の給食メニューが「ぼうさいこんだて」でした。掃除の終わりが近づいたところ、緊急地震速報(訓練放送)が流れ、まずは自分の身を守る行動、そして強い揺れが収まった段階で、周囲の状況に注意して校庭に避難しました。事前に子どもたちには伝えていなかったのですが、高学年の声掛けで全員無事避難することができました。